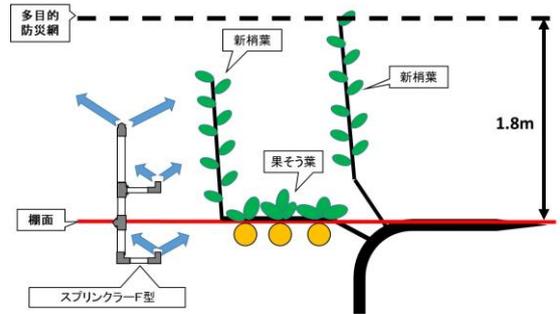


多目的スプリンクラーによる ナシ園の省力病害虫防除

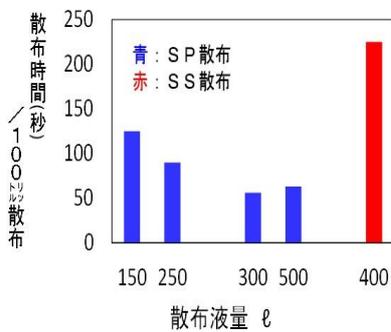
ナシの防除は通常、スピードスプレーヤー (SS) を用いますが、都市化の進む地域では散布した薬液の霧が飛散 (ドリフト) したり、騒音などで周辺に迷惑となる恐れがあります。また、散布労力も生産者にとって大きな負担です。こうした問題を解決するため、灌水や薬剤散布ができる多目的スプリンクラー (SP) を導入して薬剤散布をする生産者が増えてきました。しかし、SPの防除効果や農薬の飛散防止効果など不明な点が多かったため、研究を実施しました。

その結果、SP散布はSS散布と比べ①散布時間が非常に短く省力的②ドリフトが軽減できる③土着天敵が温存されほぼ同等の防除効果が期待できることがわかったので、いくつかの注意点も加えてマニュアルを作成しました。



埼玉県の育成品種「彩玉」 (左上)
スピードスプレーヤー (SS) (左下)
多目的スプリンクラー (SP) (右)

多目的スプリンクラーの噴口位置
と各噴口とナシの枝との関係



SPとSSの
散布量と散布時間の比較



マニュアル全18ページ

多目的スプリンクラー利用の メリットは？

- ① 散布時間の大幅カット
従来比約28%
- ② 周辺への薬液飛散防止
ドリフトが軽減
- ③ 土着天敵温存型の病害虫
管理ができる。
- ④ 散布作業安全
作業事故の心配少ない。